共用プールからキャスク仮保管設備への使用済燃料構内輸送作業の状況

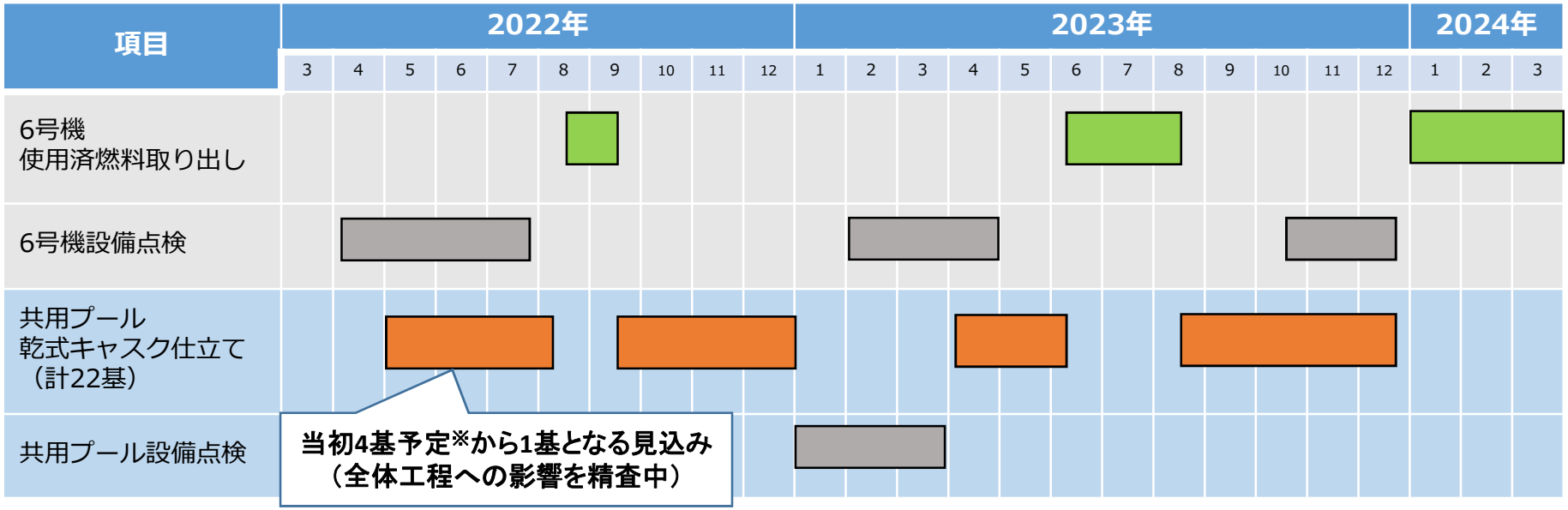
2022年7月28日

東京電力ホールディングス株式会社

1. 作業の状況

- 6号機使用済燃料を共用プールに受け入れる空き容量を確保するため，共用プールに貯蔵されている使用済燃料を乾式キャスク22基に収納し，共用プール建屋からキャスク仮保管設備へ構内輸送し保管する作業を現在実施中。
- 2022年5月11日より1基目の乾式キャスクへ燃料を装填し作業を開始したものの，蓋の気密性確認時の基準超過（キャスク一次蓋取付け前の燃料上部清掃により現在は基準を満足している），また7月20日に共用プール1階天井クレーンの走行不能事象が確認されたことから，キャスク仮保管設備への輸送に期間を要している。
- このため，6号機燃料取り出し開始前に実施する使用済燃料の構内輸送は当初4基程度を計画していたが，現状1基となる見込み。
- 6号機燃料取り出しは予定通り8月末より開始予定。

6号機使用済燃料取り出しスケジュール（予定）



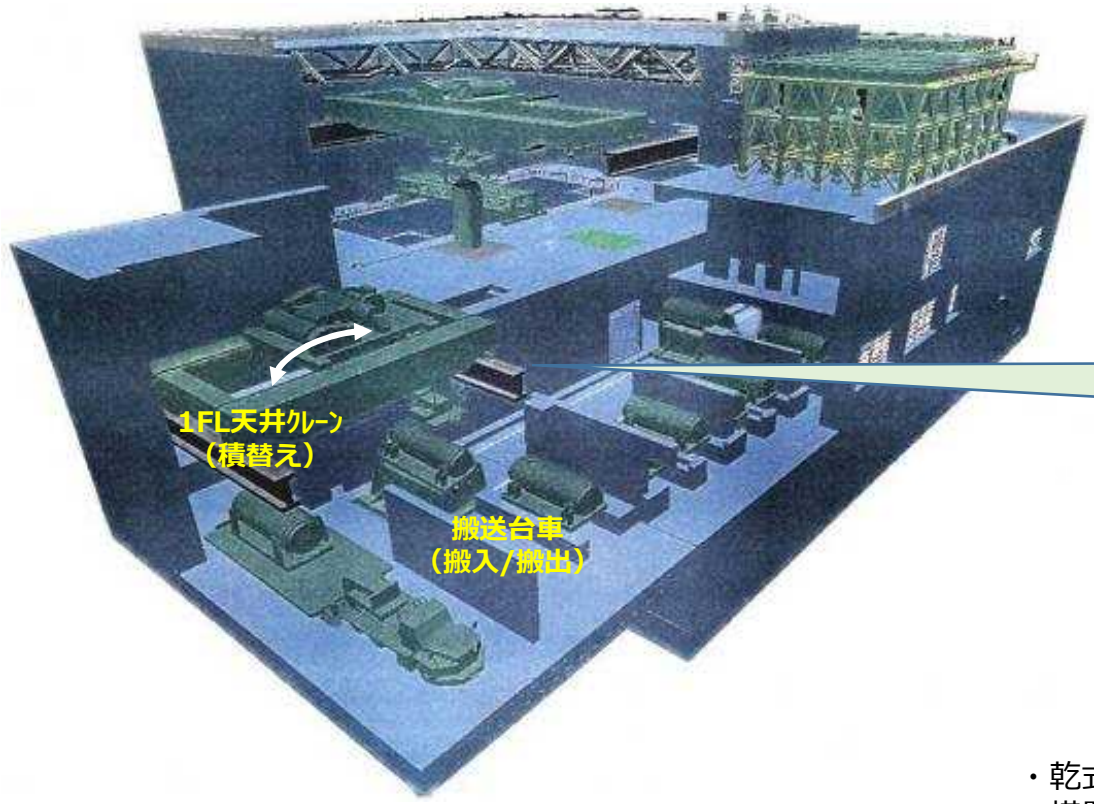
※：1F共用Pからキャスク仮保管設備への使用済燃料構内輸送作業について（2022年2月）

（参考） 共用プール1階天井クレーン　走行不能事象

TEPCO

■ 7月20日　共用プール1階天井クレーンを用い乾式キャスクを搬送台車から輸送車両に乗せ換える作業を実施中，「インバータ故障」警報が発生し走行操作ができない状態となった。（横行および昇降操作は可能）

■ 要因分析、点検結果からインバータ内部基盤の故障の可能性が高いことから、予備のインバータへ交換を実施。7月中目途に復旧予定。



共用プール建屋

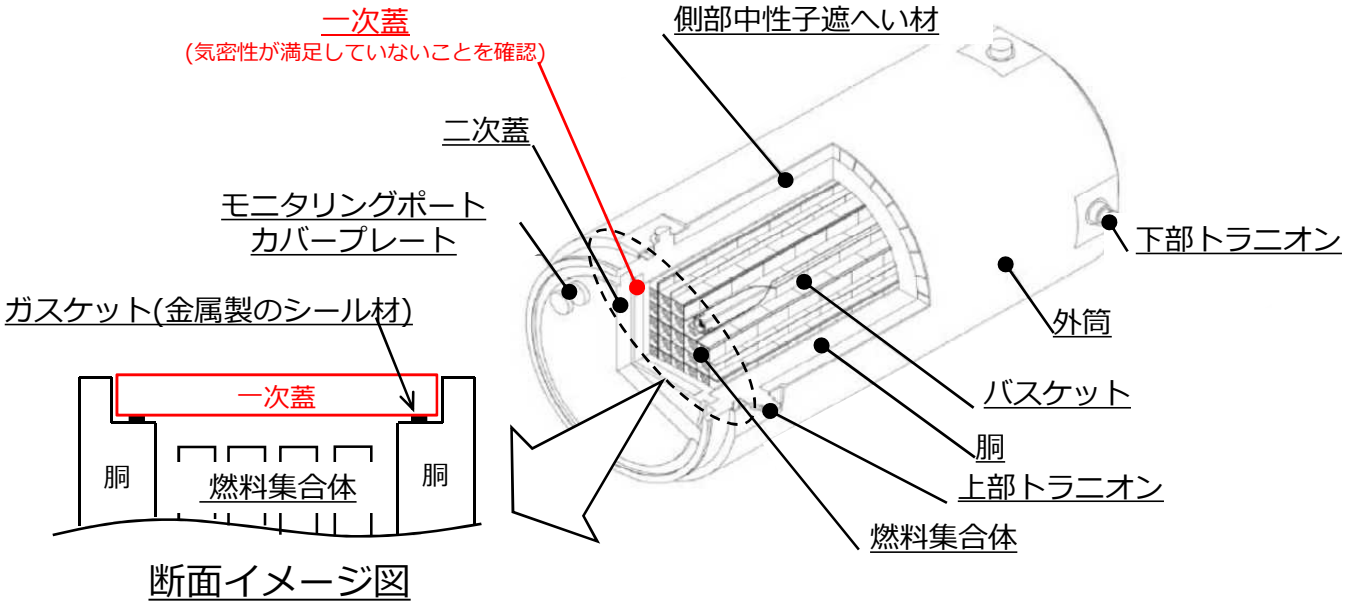
乾式キャスク保管エリア

・乾式キャスクは，１階キャスク保管エリアにて，横置き状態で安定保管中。
・キャスク仮保管設備に輸送前であるが，自主保安で毎日１回圧力と温度を確認。

（参考）乾式キャスク気密性確認時の基準超過について

TEPCO

- 2022年5月11,12日，共用プールに保管している使用済燃料（69体）を乾式キャスク（1基）へ装填後，5月22～27日にかけて，共用プール（気中）において蓋の気密性確認を行ったところ，気密性が満足していないことを確認。
- 当該乾式キャスクへ装填した使用済燃料を共用プール（水中）に戻し，空の状態で気中に引き上げ，原因調査を実施。乾式キャスクフランジ面の外観確認で異常の無いこと，気中で一次蓋を取り付けた状態での気密性確認で問題がなかった（合格判定）ことから，水中での一次蓋取り付け時に乾式キャスク内の水が押し出され，偶発的にシール面に異物が噛み込んだ可能性を推定。
- 異物噛み込みリスク低減のため，キャスク一次蓋取り付け前に異物が堆積していると想定される燃料上部の清掃を実施。現在は判定基準を満足している。



乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスク）概略図